

第4回アグリビジネス公開講座(11/30)

演 題 地方創生に向けた多様な農業のあり方
講 師 和歌山大学 地域活性化総合センター
食農総合研究所
准教授 岸上光克 氏

古くから農業は暮らしの一部として生活と密着しており、今も地域農業の中心は農的暮らしを続ける人々であり、近年では田園回帰を求める移住者も増える傾向にある。一方、高所得の強い農業を目指す農業者は、地域への密着度よりも効率を優先することが多く、農的暮らしを重視する人々とは農業に対する考え方が根本的に異なるとのことであった。

地域の農業形態が専業農家にだけ偏れば、地域内における農業理解が希薄化し、農業生産を継続して行くことが困難になる。このため、地域農業振興のためには、この両者が地域の多様な農業形態を認め合い、互いに協力補完しながら、地域全体における「考える農業」の推進が重要との事であった。

今回は、一般社団法人和歌山県植物防疫協会との共催事業として開催し、協会の会員の皆様にも多数参加いただいた。



多様な農業形態の重要性について講演中の岸上先生



会場の状況